

このニュースは東京都レンジャーの活動や、自然の情報などを皆様へお伝えするものです。

登山道と水みち

雨が多い季節になりました。雨が降り続くと、登山道は水の力によって大きな影響を受けます。

水みち

水が低いところを求めて流れてできる道のような跡を「水みち」と呼んでいます。

登山道は人が歩く際にも土が削られて周辺より低くなるため、水みちができやすい場所です。

登山道の傾斜が急になると、勢いがついた雨水は登山道の土砂を洗い流して削っていきます。そのままにしておくと登山道は1 m以上も深く削られて溝のようになってしまうことがあります。

踏み固められた登山道では、登山道に沿って水みちが見られることがあります。



登山道に流れる雨水



深い溝



登山道脇の水みち

対策として…

水みちが深くなる手前で登山道を横切るように溝（横断溝）を作り、水の流れの方向を変えたり、勢いを緩めるようにします。



雨天時の横断溝

横断溝は流れてきた土砂によって埋まりやすく、メンテナンスをしないと機能を果たすことができなくなってしまいます。設置するだけでおしまいにせず、その後メンテナンスをすることも大切です。



横断溝設置作業



横断溝清掃